

この度は、弊社製品をお買求めいただきましてありがとうございました。  
本製品は組立式になっておりますので、下記の詳細で組立ててください。  
パッキングケースの中には、下記の部品が入っています。

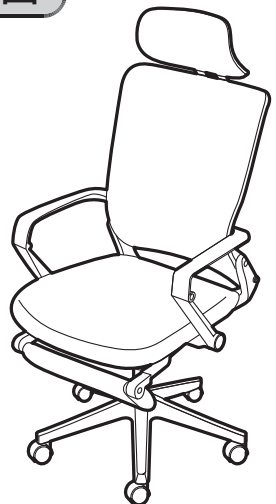
**組立説明書は組立て後も  
大切に保管してください。**

この製品を第三者に貸し出すときは、この説明書も共に  
貸し出し、よく読んでから使用するようご指導ください。

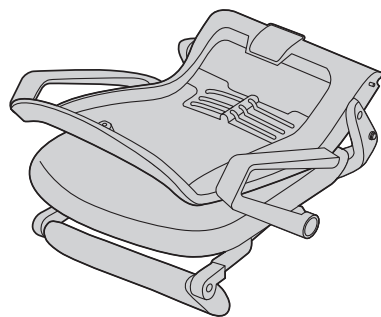
★用意していただくもの……

手袋(組立て時のケガ等を防ぐために着用をおすすめします)

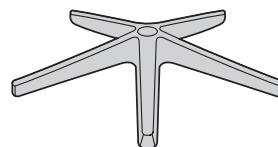
完成図



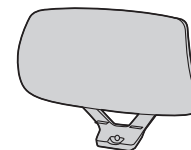
組立て部品



①チェア本体×1台



②レッグフレーム×1個



⑤ヘッドレスト×1個



⑥ノブボルト×1本



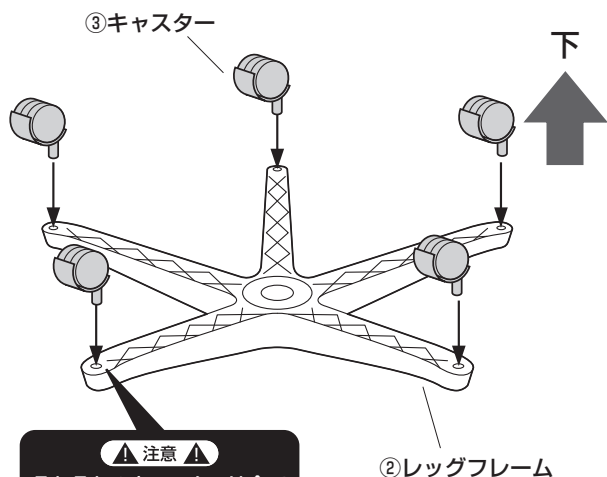
③キャスター×5個



④ガスシリンダー×1本

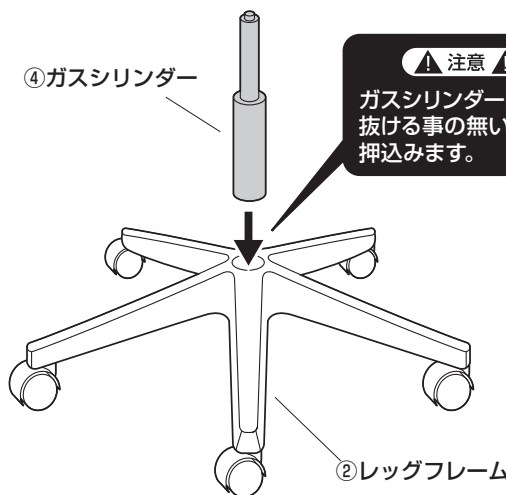
※部品の欠品や破損があった場合は、品番(150-SNCM031など)と  
上記の部品番号(①～⑥)と部品名(キャスターなど)をお知らせください。

**1** レッグフレームをひっくり返し、  
キャスターを取付けます。



**▲注意▲**  
それぞれのキャスターは全て  
圧入です(手ではめこむ)。  
奥まできちんと差し込んでく  
ださい。

**2** レッグフレームにガスシリンダー  
を差し込みます。

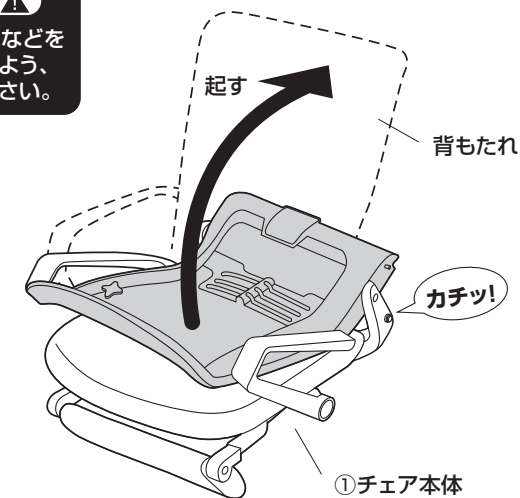


**▲注意▲**  
ガスシリンダーが後で  
抜ける事の無い様に、  
押込みます。

**3** 背もたれを起こします。

※カチッと音が出るまで起こします。

**▲注意▲**  
可動部に指などを  
はさまないよう、  
ご注意ください。



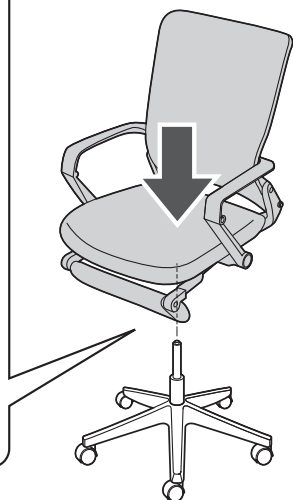
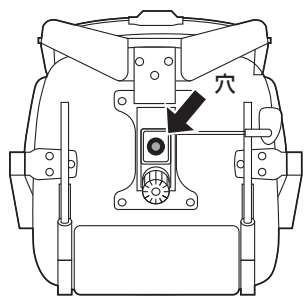
①チェア本体

4

ガスシリンダーに座面を差込みます。

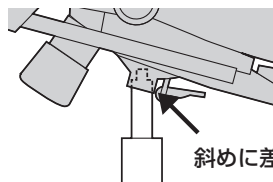
## 下から見た図

座面の下図の穴に差込みます。

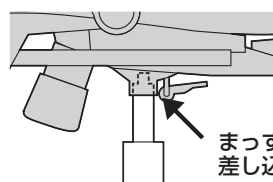


▲ 注意 ▲

座面ブラケットをガスシリンダーにまっすぐ奥まで差し込んでください。  
座面ブラケットが斜めに差し込まれていると奥まで差し込まれず、ガスシリンダーが正常に作動しない場合があります。



斜めに差し込まれている

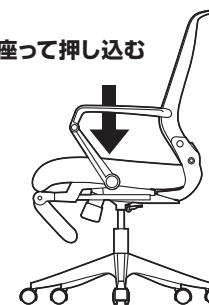
まっすぐ奥まで  
差し込まれている

## 最後に

※ガスシリンダーが深く差し込まれるように、座面にしっかり体重をかけてください。

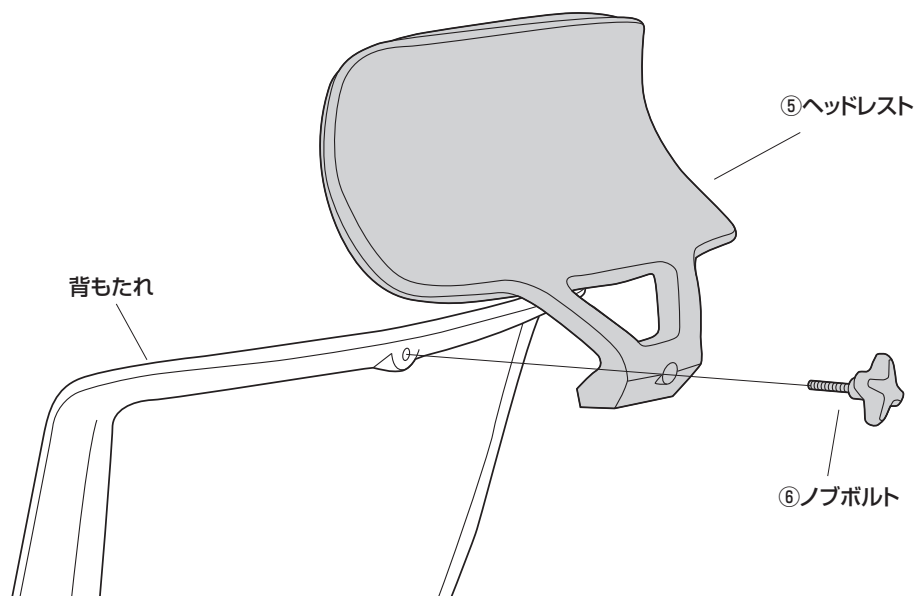
- ※ガスシリンダーが深く差し込まれていないと、座面の高さ調節ができません。
- ※何度か座面に体重をかけてガスシリンダーを確実に差し込んでください。
- ※体重の軽い方ではガスシリンダーが深く差し込まれない場合があります。
- ※固定が不十分ですと、チェアを持ち上げた時にレッグフレームが抜け落ちる場合があります。

## 座って押し込む



5

背もたれにヘッドレストを取付けて完成です。

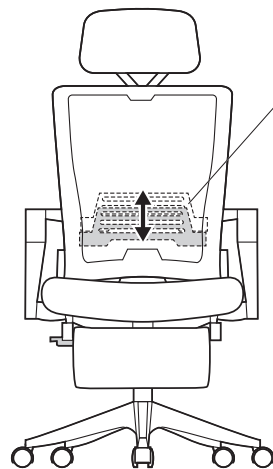
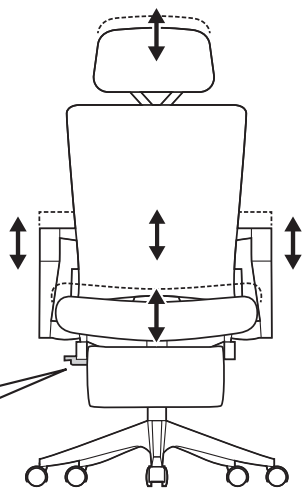
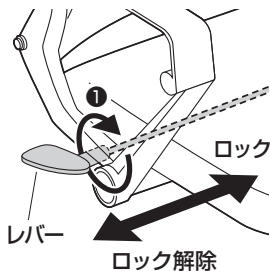


## 各部の調節方法



レバーを引き上げてガスシリンダーが正常に作動することを確認してから使用してください。  
正常に作動しない場合はガスシリンダーが奥まで差込まれていない場合がありますので、座面を差込み直してください。

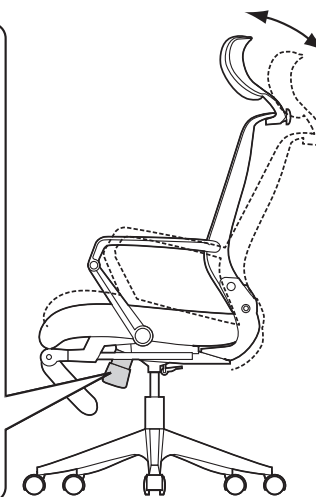
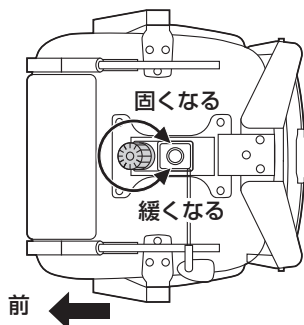
- ①レバーを矢印の方向へ回転させると座面の高さ調節ができます。
- ②レバーを外側に引出すと、ロックのロックが外れ、差込むとロックされます。



ランバーサポートは任意の高さに調節することができます。

### 下から見た図

下から見て、ツマミを時計回りに回すとロックが固くなり、反時計回りに回すと緩くなります。



## オットマンの使用方法

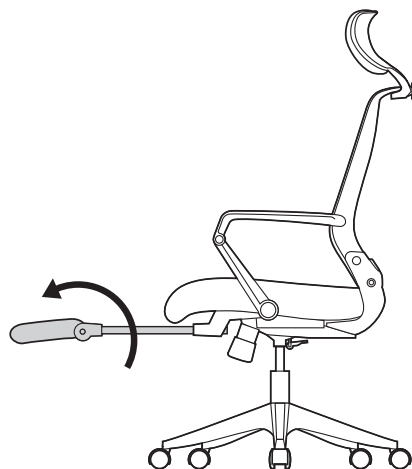
- ①座面の下からオットマンを引き出します。



可動部分で手や足を挟まないように十分ご注意ください。



- ②オットマンを180°回転させます。



## チェアの品質表示

構造部材：座部/合板、スチール 背もたれ部/ポリプロピレン  
脚部/ナイロン 肘あて部/ポリプロピレン キャスター部/ナイロン  
張り材：ポリエステルメッシュ  
クッション材：ウレタンフォーム

### ▲ 使用上の注意 ▲

- 直射日光の当たる場所や高温、湿気及び乾燥の著しい場所を避けてください。
  - 滑りやすい床面で使用しないでください。
  - 用途以外で使用しないでください。
  - 座面の上に登らないでください。転倒の原因になります。
  - 可動部に手足などを挟まないように注意してください。
  - 著しい汚れを落とす場合は、薄めた中性洗剤を使用してください。
  - 座面に勢いよく座らないでください。勢いよく座ると、座面に体重の3~4倍の荷重がかかり、チェアが破壊される恐れがあります。
  - 同時に2人以上で腰掛けしないでください。
  - パーツ類が1つでも紛失、破損、消耗した場合は、純正部品による修理が完了するまで使用しないでください。
- ※以上の注意に従ってご使用いただかない場合、大きな事故につながる危険がありますので、必ず守ってください。